

2025 年度 傾斜的研究費（全学分）生成 AI 利用支援 研究報告書

※本学 HP での公表を前提に記入してください。

【研究費区分】：生成 AI 利用支援

【所属】：国際センター

【氏名】：伊藤大将

【氏名フリガナ】：イトウダイスケ

【職】：准教授

【研究課題名】：英語論文の完成度を高めるための AI の活用の検討

【研究実績の概要】

本研究では、先行研究のまとめから英語論文の執筆に至るまでの作業を、AI を使用することで完成度を高くできるかを探索的に検討した。AI は、論文執筆の様々な側面を支援する scispace と、論文執筆の先行研究に特化した Elicit、執筆に特化した Jenni.ai と Paperpal を使用した。Jenni は論文の執筆を自動的にすることに加え、アウトラインの作成や言い回しの変更などが可能である。一方、Paperpal は、人が執筆した論文の編集やプルーフリーディングの機能が主であり、論文をジャーナルに投稿する際の準備に使える機能が多い。

今回は、以下の手順で検討を行った。本 AI 利用支援が始まった段階で、アメリカ社会学会の年次大会で発表するために準備した、先行研究のリストや表を入れて英語で 26 ページの論文が手元にあった。論文はメリトクラシーと再分配の関係について統計分析を行った結果である。この論文を投稿用の論文にするため、プレゼンテーション用に作成した論文を参考にしつつ、全く新しいワードファイルに論文の執筆を始めた。その論文執筆を進める中で scispace、Elicit、Jenni、Paperpal の 4 つを使用して比較した。本報告書執筆時点（5 月中旬）で、論文は書きあがっておりエディタージから編集作業の結果が届き修正を終え、投稿まであと少しというところまで来ている。

まず、Jenni の論文執筆機能を試した。プレゼンの論文を参考に、最初の数文字を英語で打つと、その分を完成させる残りの文字が表れる。Tab を押すとそれが確定となり、次の文の候補が現れる。1 段落だけではあるが、私が考える内容が次々と候補に現れ、Tab を押し続けるだけで、1 段落の執筆が 1 分程度で終わってしまった。次の文の候補が気に入らない場合は、自分が持って行きたい方向の単語を入れればその続きの文の候補を提示してくれる。Jenni を使えば、非常に短時間でネイティブらしい言い回しの論文が執筆できてしまう。Jenni が作成した部分を AI Detector に入れると、AI が書いた文である確率が 100% という結果が出た。私が単語を少し置き換えて、再度 AI Detector に入れると、50% 程度に確率が下がった。よって、少し単語や言い回しを変えるだけで、AI が執筆したことがわかりにくい文章ができてしまった。この倫理的側面の問題に加え、Jenni では引用が問題だった。Jenni は候補の文の後に引用を入れてくれるが、それが必ずしも信頼できる論文とは限らなかった。よって手作業で Jenni が引用として提示した論文を 1 つずつ確認し、内容が誤っていないことを確かめる必要があった（その際には、文献サーチに特化した Elicit を使用した）。

Jenni の使用は先行研究のまとめを書き終えた段階で中止し、methods や results、discussion は AI を一切使わずに執筆した。その後 Jenni と Paperpal を英文校正のために使用したが、文法的な間違い

いだけでなく、英語らしい表現を提案してくれ、両方とも同じくらい効果的だった。ある程度英語で執筆できる人であれば、エディタージの人の編集を通さず、論文投稿が可能なレベルまで到達できそうである。ただし、どちらも論文の内容まで理解できているとは言い難く、提案を否決することもあったため、修正の提案のすべてを自動的に承諾するのは、やめたほうがいい。

最後に、論文執筆のいろいろな作業を一か所でできる **scispace** は、個人の感想のようになってしまいが、使い勝手が悪かった。いろいろなことができる反面、使用時に研究者の自由度が少なくなっているという印象を受けた。学部生や修士の大学院生が、迷路に入ってしまうずにリサーチをするような型は **scispace** にはあるため、初心者には使いやすいと考えられるが、こうしたいというものがある研究者は、サポートが必要な部分に特化した AI のほうが向いているのではないかと思う。また、使用するたびにクレジットが減らされるシステムで、私が契約した毎月 12 米ドルを支払う契約では、月に 1200 クレジット付与されるが、AI を使用するたびにクレジットがすごい勢いで減っていった（事前に何クレジット差し引かれるかはわからなかった）。夏休みや春休みに集中して研究を進めるような大学の教員にとっては、一定額を支払って無制限に活用できるサービスのほうが使い勝手がいい。

私は 2026 年度は、**Elicit**、**Jenni**、**Paperpal** の 3 つを契約して使用し続けている。**Jenni** と **Paperpal** は英語論文を早く執筆できるが、倫理的な問題を見過ごすことはできない。本人が執筆していない論文を投稿することは、ジャーナルの規定違反であり、研究者としての倫理観に反する。英文校正に使用することは問題ないと言っているところが多いが、どの程度までなら許されるのか、はっきりとした境界線はない。研究者の AI 使用は、もう少し具体的なルールができるまでは、グレーゾーンのような使用方法是控え、慎重に行うべきである。